

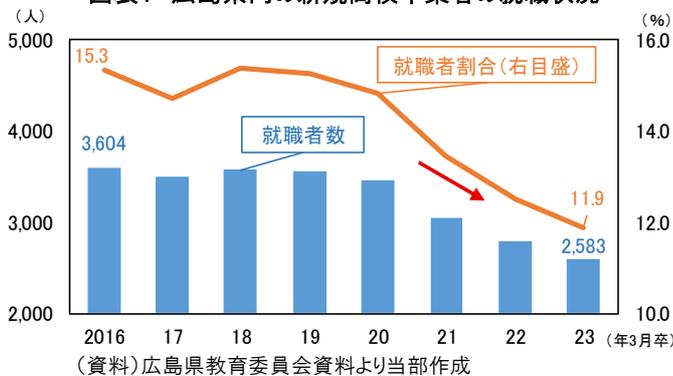
広島県内の新規高校卒業者の就職状況

上昇する高校新卒者の求人倍率

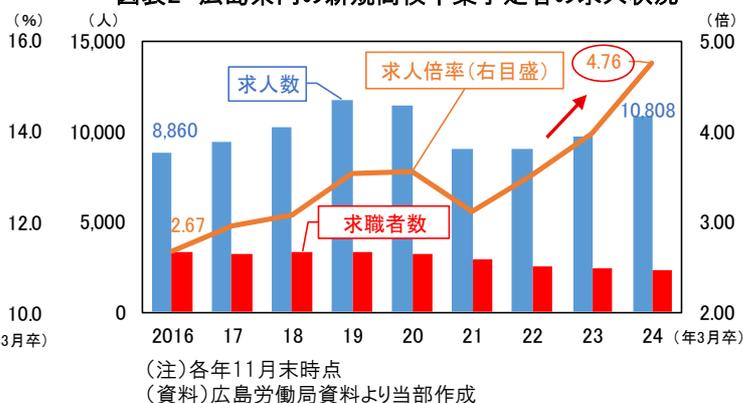
広島県内の高校新卒者の就職者数は近時、減少基調を強めており、2023年3月卒は2,583人(うち県内2,256人、県外327人)と、2016年(3,604人)から1,000人以上減少しています(図表1)。

一方、求人数は、コロナ禍からの経済回復と人手不足の深刻化の中で増加し、今年3月卒業予定者の求人倍率は昨年11月時点で4.76倍と、大幅に上昇しています(図表2)。

図表1 広島県内の新規高校卒業者の就職状況



図表2 広島県内の新規高校卒業予定者の求人状況



若者に魅力ある環境づくりを

2022年3月の高校新卒者について求人に対する充足率をみると、全体では約3割にとどまっています。中でも、構造的な人手不足が深刻な建設業、医療・福祉、運輸業では雇用のミスマッチが強い傾向にあります(図表3)。このため、各事業者においては就労環境や処遇改善等への更なる取り組みが求められます。

なお、広島県では、高校新卒者の「就職」理由による社会増減は、近隣県を中心に「流入超過」であるものの、プラス幅が年々縮小していることに加え(図表4)、「転職・退職」等に伴う若年層の流出が続いています。その意味では、地域としても、県内に就職した若者にとって働きやすく住み良い環境づくりを進めていくことが大切です。

図表3 業種別の求人数と充足率(2022年3月卒)

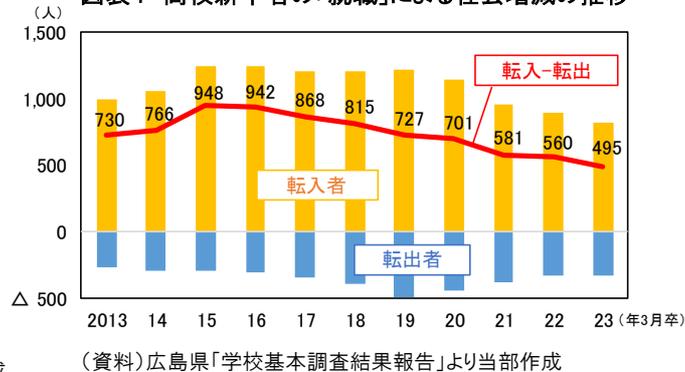
	求人数(人)	構成比(%)	充足率(%)
合計	9,019	100.0	32.2
製造業	3,210	35.6	36.4
建設業	1,292	14.3	21.4
卸売業,小売業	1,188	13.2	31.1
運輸業	1,037	11.5	16.1
医療,福祉	640	7.1	17.5

(注1)充足率=2022年3月卒就職者数÷2021年11月求人数で算出

(注2)就職者数、求人数の出所は異なる

(資料)広島県「学校基本調査結果報告」、広島労働局資料より当部作成

図表4 高校新卒者の「就職」による社会増減の推移



- ◆ 本資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、何らかの行動を勧誘するものではありません。
- ◆ 本資料は、信頼できるとされる情報に基づいて作成されていますが、その正確性を保証するものではありません。また、本資料に記載された内容等は作成時点のものであり、今後予告なく修正、変更されることがあります。資料のご利用に関しては、お客さまご自身の責任において判断なされますよう、お願い申し上げます。
- ◆ 本資料に関連して生じた一切の損害については、責任を負いません。その他、専門的知識に係る問題については、必ず弁護士、税理士、公認会計士等の専門家にご相談のうえ、ご確認ください。
- ◆ 本資料の一部または全部を、当社の事前の了承なく複製または転送等を行うことを禁じます。
- ◆ 本件に関するご照会は、ひろぎんHD経済産業調査部 担当：助永(TEL082-247-4958)までお願いします。